

資料2

平成28年度 第1回 千葉県道路協議会

平成28年12月19日

千葉県

## 北千葉道路の状況について

# 北千葉道路の位置づけ

- 北千葉道路は、外環道から千葉ニュータウンを經由し、成田国際空港までを最短で結ぶ幹線道路
- 「都市再生プロジェクト(第2次決定)」において、空港アクセスの利便性向上として、北千葉道路の早期具体化が位置づけ

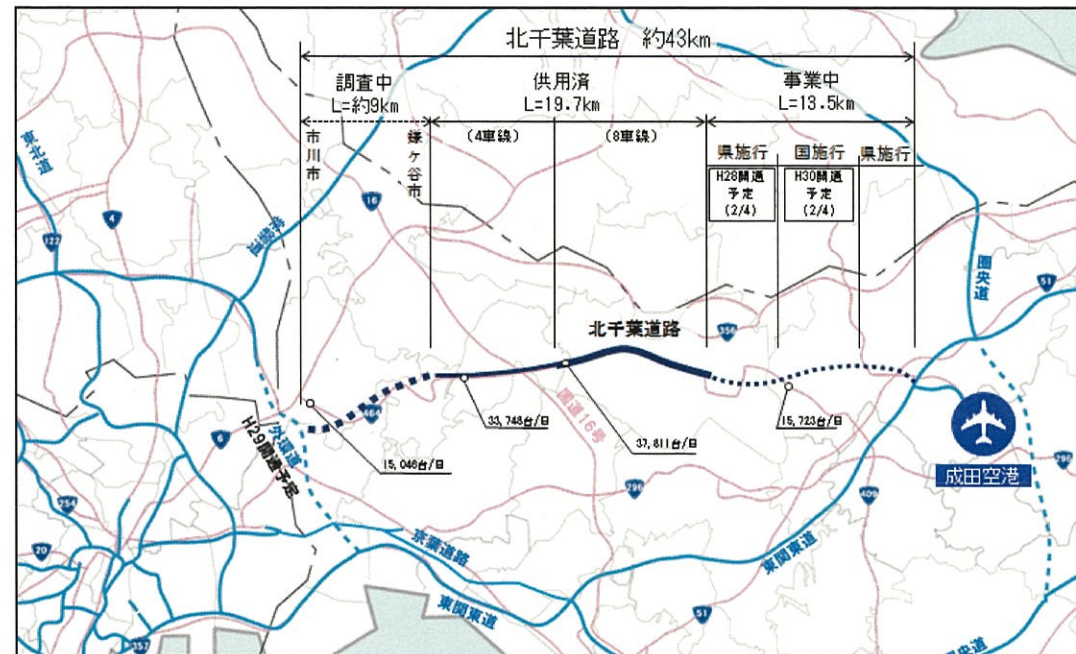
起 終 点:市川市～成田市

延 長:約43km

都市計画決定状況(当初):

市川市・印西市間:昭和44年5月

印西市・成田市間:平成17年12月



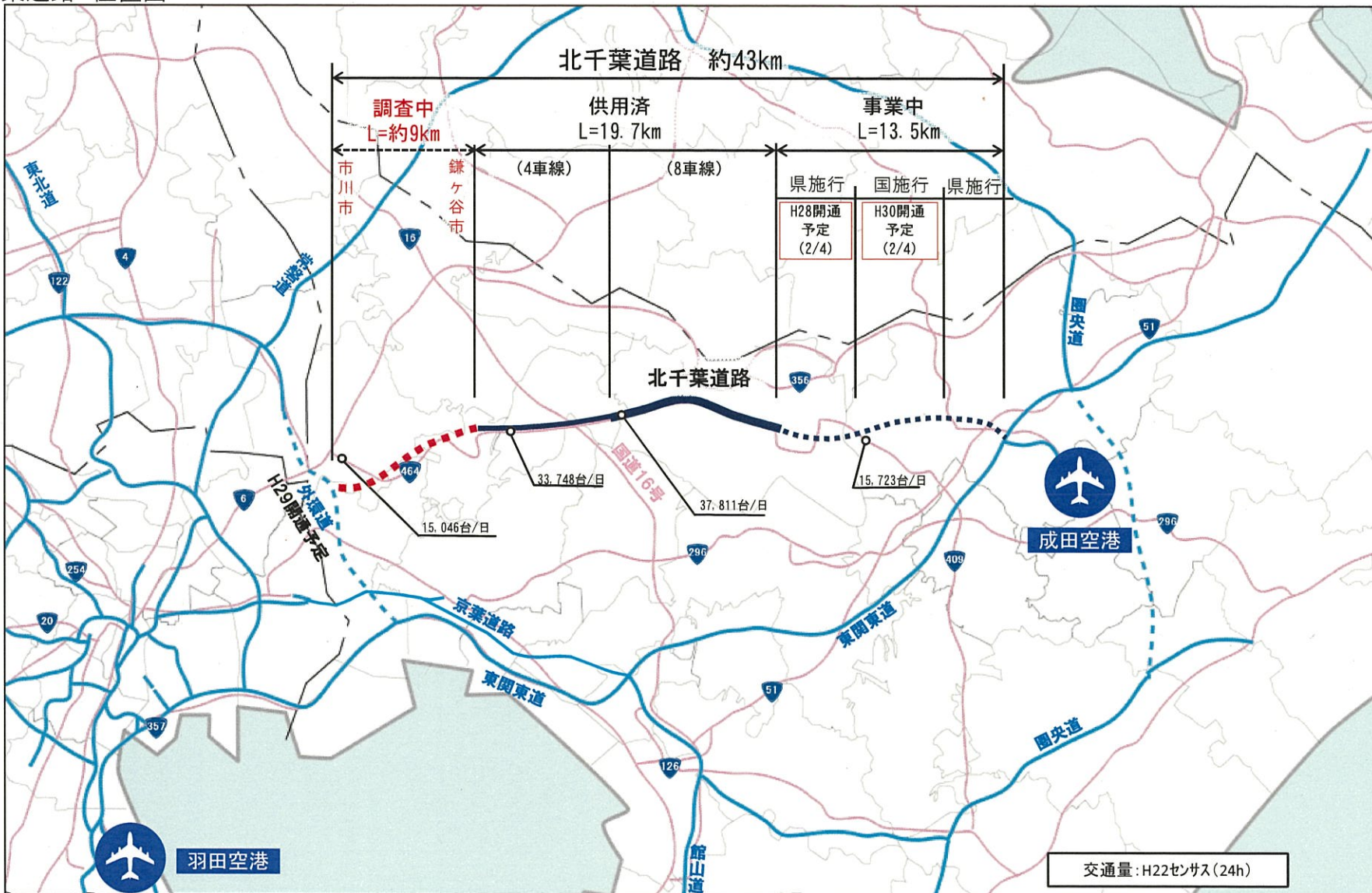
○「都市再生プロジェクト第2次決定(平成13年8月)」

首都圏北部と成田空港間のアクセス時間を大幅に短縮する新たな道路アクセスルートとして、東京外かく環状道路の東側区間の早期整備と北千葉道路の計画の早期具体化

# 北千葉道路の概要

- ◆ 北千葉道路は、首都圏(東京外環)と成田空港を連結する道路。
- ◆ 整備により、国際競争力の強化、周辺道路の渋滞緩和による物流等の効率化などが期待される。

■北千葉道路 位置図



# 1. 北千葉道路に求められる機能

## (1) 成田国際空港等拠点への広域高速移動の強化

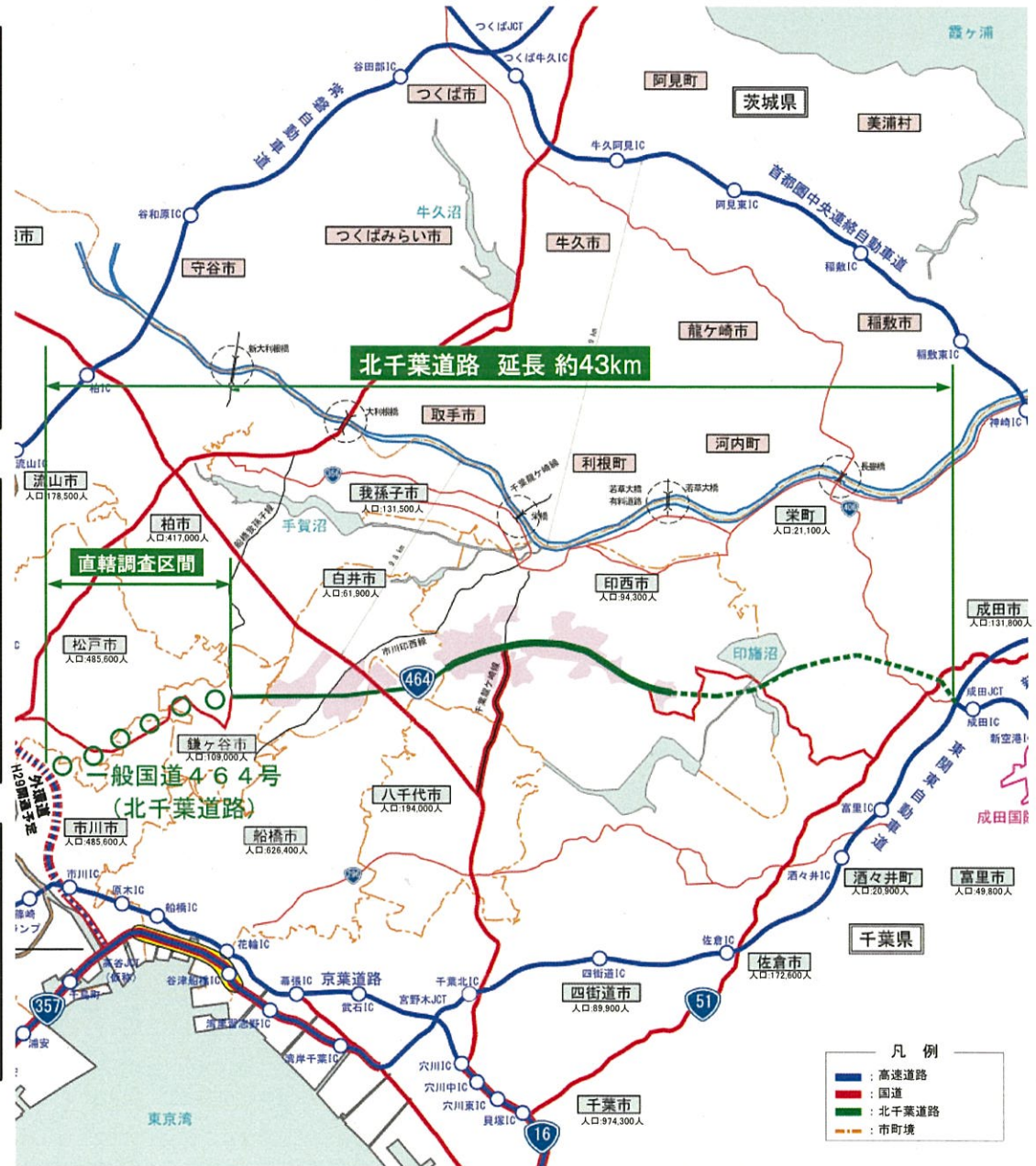
- 北千葉道路周辺は、高速道路ICへのアクセスが30分以上かかる空白地が存在。
- 成田・千葉ニュータウン地域は、業務核都市としての機能が期待されている地域だが、高速道路ネットワークからは孤立している状況。
- 千葉外環整備後には、都心からこれらの拠点を結びつつ、成田空港へ至る最短のアクセスルートとなる。(東関東道、京葉道路は渋滞が多発し、時間信頼性が低い)

## (2) 周辺道路の渋滞の緩和

- 東西方向の幹線道路が不足しており、現道464号も脆弱。
- 県道等も含め、多くの地点で渋滞が発生。
- 地域内だけでなく、地域外への交通も顕著。(内外、内々交通が7割以上)

## (3) 災害時の緊急輸送ネットワークの強化

- 1次緊急輸送路となっている国道464号は、2車線しかなく緊急輸送路として脆弱。
- 首都圏への緊急物資を担う高規格ネットワークは、東関東道など湾岸部のみ。

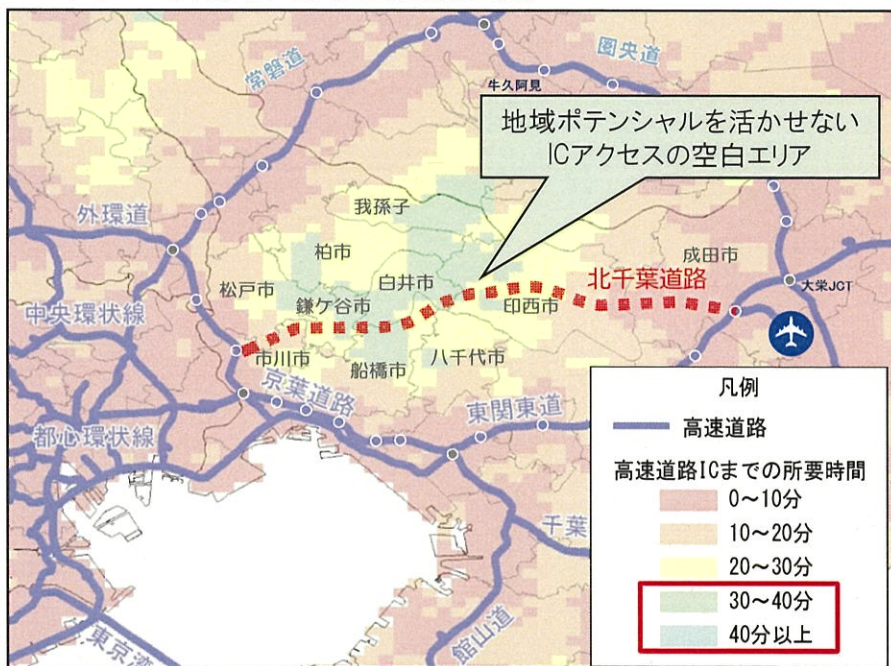


人口:H27千葉県毎月常住人口調査(8月現在)

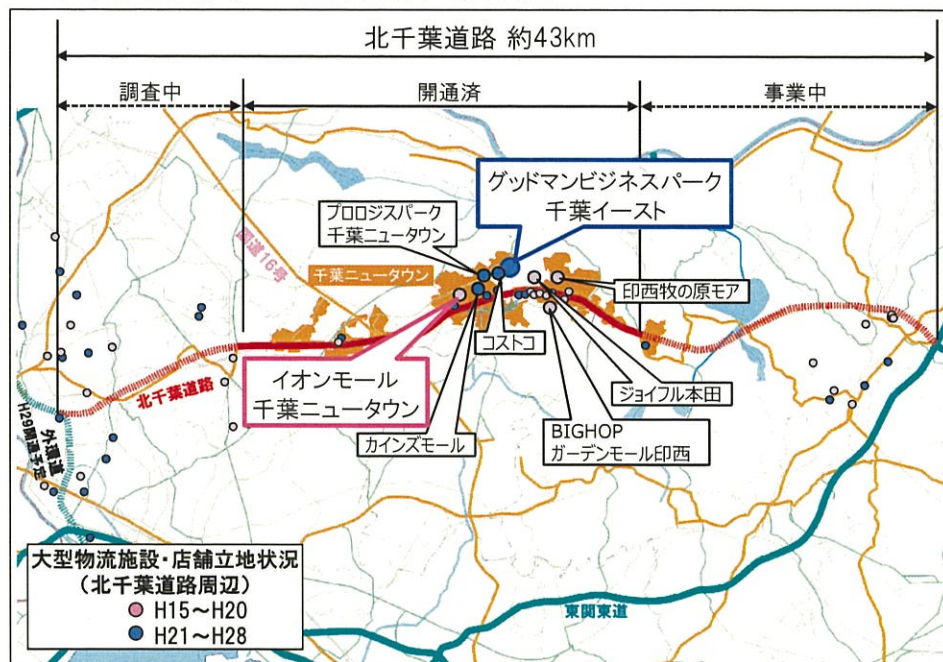
# 1. (1) 拠点への広域高速移動の強化 ～地域の都市機能の強化～

- ◆ 成田・千葉ニュータウン地域は、業務核都市として、首都圏における広域連携拠点の役割を担う地域。
- ◆ 高速道路ICまでのアクセス時間が長く、地域の機能強化のために広域高速移動の強化が必要。
- ◆ また、北千葉道路周辺は物流施設、商業施設等が多数立地しており、生産性の向上に期待。

■ ICアクセス時間(外環・圏央道開通後)



■ 北千葉道路周辺の主な企業立地状況



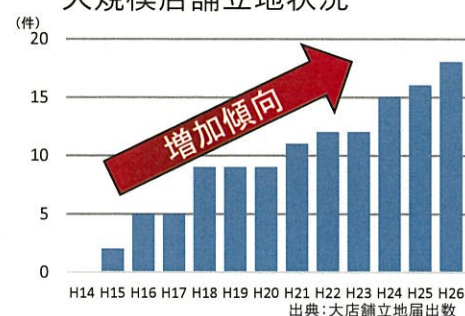
■ 千葉ニュータウンの大型物流施設・大規模店舗



■ 北千葉道路周辺の工業・物流施設立地状況



■ 北千葉道路周辺の大規模店舗立地状況

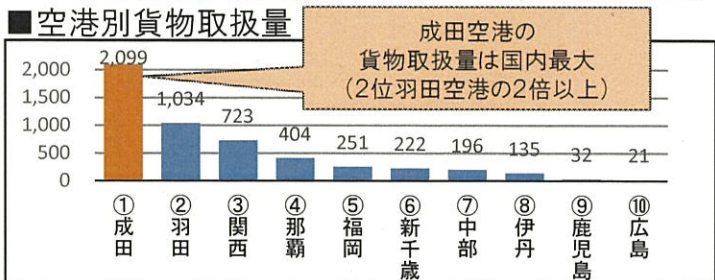


# 1. (1) 拠点への広域高速移動の強化 ～成田空港へのアクセス～

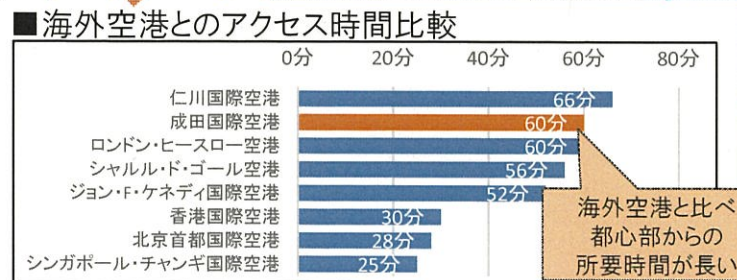
- ◆ 千葉外環整備後、北千葉道路は成田空港へのアクセスルートとして最短。
- ◆ 都心から成田空港への時間短縮効果に期待。



湾岸部(京葉道路・東関東道)は渋滞が多発。空港アクセスの時間信頼性が低い。



出典：国土交通省航空局統計データ(H26)



出典：Hotels.com 空港送迎インサイダー(2014/12)



至:成田空港

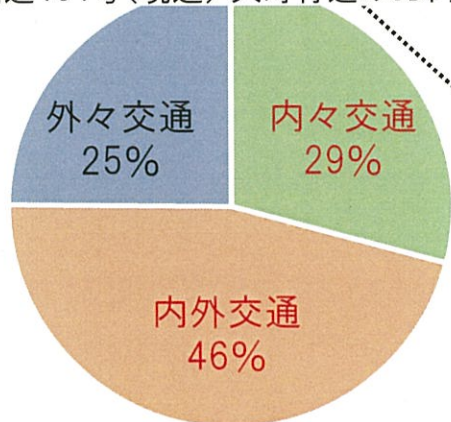
# 1.(2)周辺道路の渋滞の緩和

- ◆ 市川市～鎌ヶ谷市間は東西方向の幹線道路が脆弱。
- ◆ 国道464号及び並行する県道等は交通容量が不足しており、主要渋滞箇所が多数存在。
- ◆ 内々、内外交通が7割以上を占めており、新たな幹線道路が地域内に必要。

## ■周辺道路の渋滞状況



## ■国道464号(現道) 大町付近のOD内訳

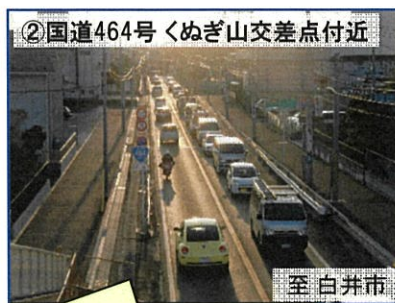


内々・内外交通が交通量の7割以上を占める

出典:平成27年度 首都圏の主要渋滞箇所(主要渋滞箇所) / プローブデータ(H27.10)(終日混雑)



交差点を先頭に慢性的に渋滞



上下方向ともに渋滞が多発



地域の交通に大型車が混入

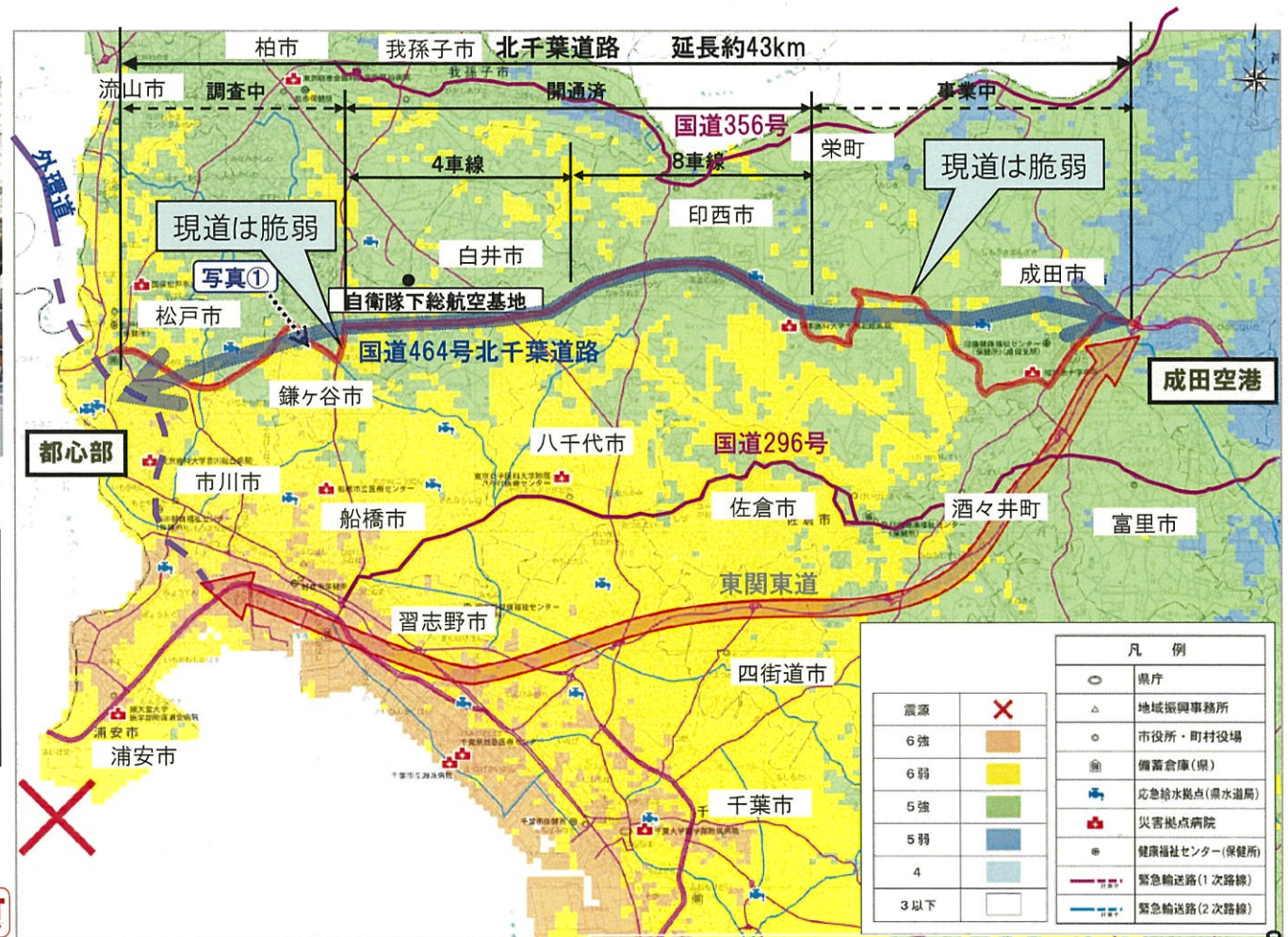
※H17現況ODより集計  
 内々交通:北千葉エリア(松戸市(R6以南)・市川市(R14以北)・鎌ヶ谷市)内相互の交通



# 1. (3) 災害時の緊急輸送ネットワークの向上

- ◆ 1次緊急輸送路となっている国道464号及び並行する国道356号、国道296号とも2車線しかなく、いずれも緊急輸送路として脆弱。
- ◆ 千葉県地域防災計画に位置付けられている下総航空基地とのアクセスが強化され、首都圏の防災機能が向上。

■ 東京湾北部地震の想定震度分布図



## 北千葉道路の整備手法について

# 市川～鎌ヶ谷間の構造

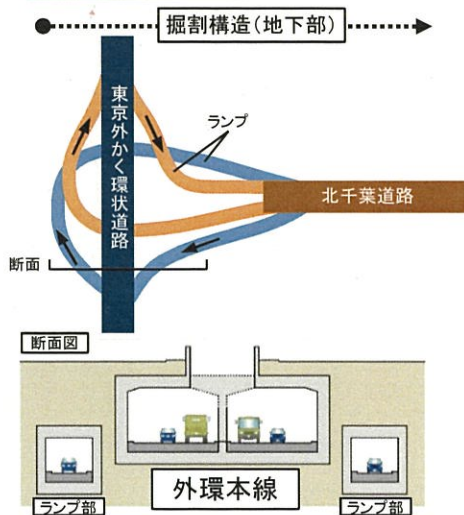
平面図



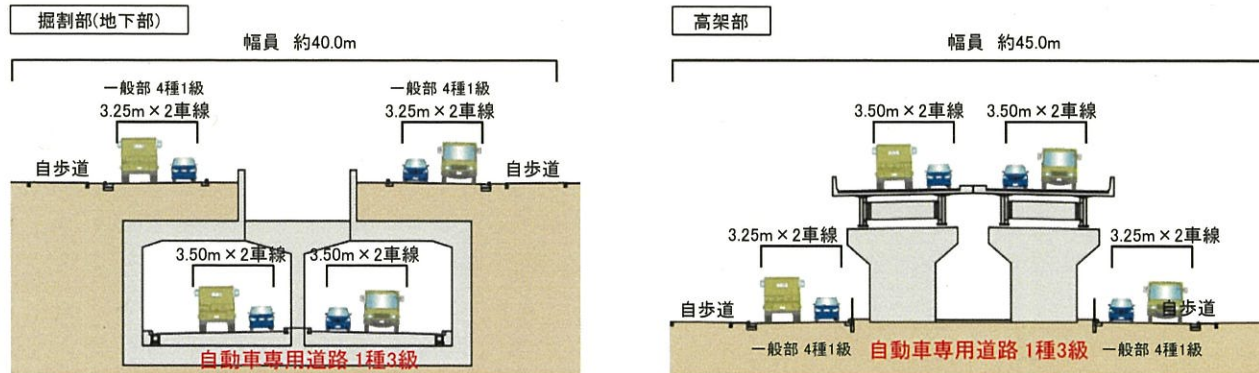
1. 北千葉道路については、成田空港アクセスの重要性、地域交通の混雑緩和など、県や沿線市からの意見・要望を踏まえ、早期整備が可能な高架構造を基本。
2. 但し、北千葉JCTから約2kmの区間は、千葉外環との連続性を踏まえ、掘割構造で計画。

※今後、地元の意向を確認しつつ、必要に応じて柔軟に基本構造を修正することも想定

北千葉JCTの構造



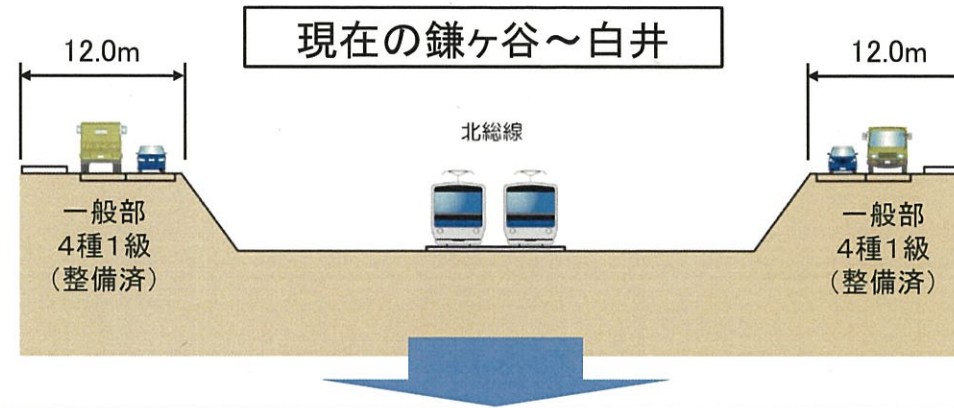
断面図



※幅員については、道路構造令の車道幅員、路肩、自転車歩行者道等を基に計画。今後、地元の意向を確認し詳細を検討。

# 鎌ヶ谷以東の構造

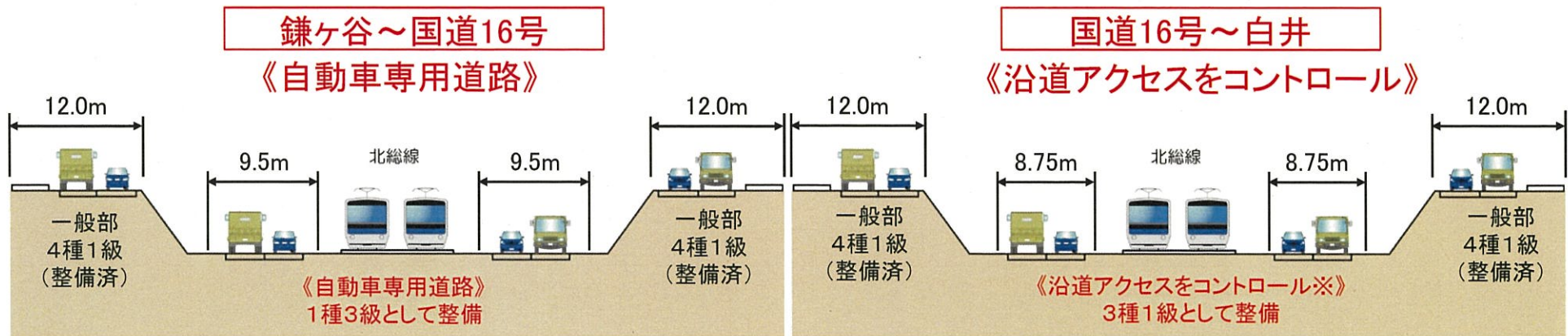
高速道路と成田空港を結ぶ重要なネットワークとして速達性・定時性の向上が必要



北千葉道路と国道16号のネットワークの特性を踏まえ、

- ・「鎌ヶ谷～国道16号」間は、外環や国道16号とアクセスする広域交通ネットワークとして、自動車専用道路を整備
- ・「国道16号～白井」間は、成田空港方面のアクセス強化として、沿道アクセスをコントロールした一般道路を整備

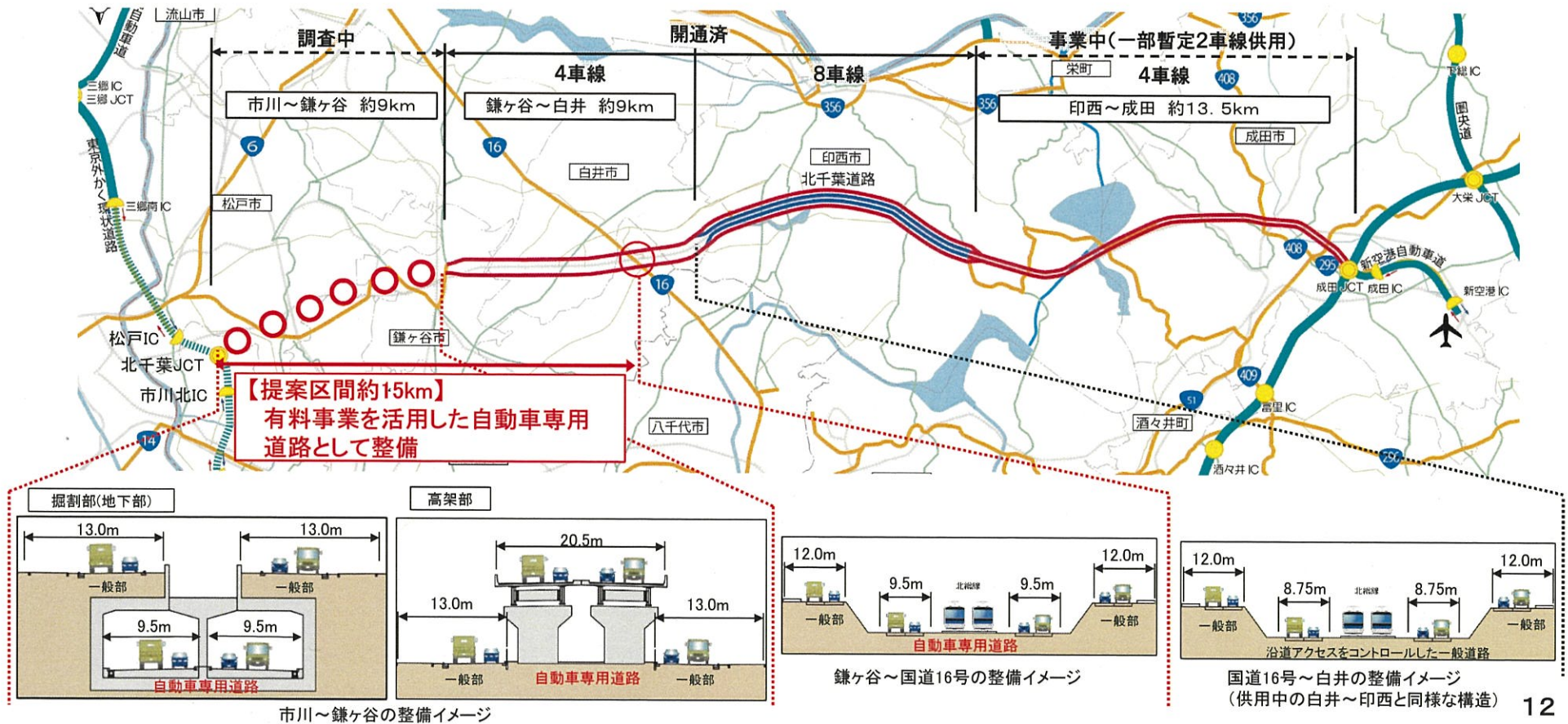
※今後、詳細な道路構造については検討が必要



※参考 供用中の白井～印西間も同様な構造

# 有料事業を活用した整備案

国及び県の検討結果や沿線市の意見を踏まえ、早期整備のため市川～国道16号間について、有料事業を活用した自動車専用道路として整備することを提案



## 国道464号の直轄編入について

## 国道464号の直轄編入について

### 【国への要請】

国道464号の重要性、国の調査結果(交通特性等)を鑑みて、改めて以下について要請

○全線について、直轄編入すること。

○先ずは、より早期に整備が必要な市川～国道16号間を直轄編入すること。

# (参考)平成28年11月 要望内容

## ○平成28年11月21日 国土交通大臣へ要望を実施

国土交通大臣  
石井 啓一 様

北千葉道路の全線直轄編入及び  
有料道路事業活用に関する要望



平成28年11月21日  
千葉県知事 森田 健作



### 【要望内容】

- 1 北千葉道路の西側区間(小室IC以西)については、広域高速移動強化のため、専用部と一般部を併設した規格の高い道路で整備すること。
- 1 全線開通の実現に向け、西側区間(小室IC以西)の早期事業化を図るとともに、全線の直轄編入を図ること。
- 1 北千葉道路の早期整備のため、西側区間(小室IC以西)について有料道路事業制度を活用すること。
- 1 道路予算全体を増額し、必要な予算を確保すること。